

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀市立大詫間小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 自治会やまちづくり協議会など地域組織との連携を強化し、地域連携による開かれた学校教育活動を推進した。 「縦割り」活動の充実など異学年間の関係が深まり、学校全体としての集団作りを進めた。他校との交流活動・交流学习等により、教育活動が活性化した。 教育相談体制の整備・充実が図られ、いじめの未然防止、早期発見、早期対応ができた。 家庭学習習慣の定着が十分でない。内容や量などの検討やテレビ・ゲーム等の視聴を含めた生活習慣について家庭との連携の推進が必要。 学校教育目標に掲げる「主体的な児童の育成」のため、意欲的に表現する力の育成や主体的に学びに向かう態度の涵養などに全校で共通実践し、小規模校の弱みを強さにかえるよう取組の推進が重要。
------------------	--

2 学校教育目標	未来を切り拓き、主体的に行動する児童の育成
----------	-----------------------

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 家庭学習の定着と生活習慣の見直しで、基礎的学力の向上を図る。 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							
	○探求的な学習の中で、児童の主体的・対話的で深い学びを実現する指導の充実	○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童90%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科半分以上の授業で「話し合う活動」を設定する。 ・課題の明確化、振り返りの場の設定。 ・感想・意見の交流で、考えの構築を可視化する授業。							
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○アンケート項目「学校生活が楽しい・友達や地域の人に優しくできる」において、達成率を児童・保護者ともに90%以上とする。	・人権集会で命や思いやりについて考えさせ、児童の自尊感情を高める。 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施。 ・「ふれあい道徳」を年1回確実に実施する。 ・異学年交流の充実。地域や他校との交流体験・交流学习を実施する。							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・毎月、月初め「いじめ・いのちを考える日」の取組として「心のカード」を書く。 ・各学期に「教育相談週間」を設定し、きめ細かな児童観察と支援を実施する。 ・「いじめアンケート」を年2回実施。全職員で情報共有を図る。 ・いじめの対応についての研修・会議を年2回以上行う。							
	◎児童が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした児童(6学年)85%以上	・児童の資質・能力を育む授業づくりに関する校内研修等の実施。 ・各種体験活動では、児童に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。							
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	●「健康に十分な睡眠は大切であると考え、決められた時刻に就寝できている」と回答した児童80%以上	・「早寝・早起き・朝ご飯」等のアンケート調査を使用し、児童の生活習慣形成に関して、保護者の意識啓発と家庭の教育力向上を図る。 ・各学期実施する「家庭学習がんばろう週間」に合わせて、「生活習慣」の見直しについて保護者の意識化を図る。							
	○「安全に関する資質・能力の育成」	○「安全に関する様々な課題に関心をもち、「自他の安全な生活を実現しよう」と考え行動している」と回答した児童を、80%以上とする。	・教科等横断的なカリキュラムマネジメントに基づく計画的実施 ・事前指導・事前学習と事後指導・事後学習の取組を図る。 ・防災の授業：年5回、避難訓練(ショートを含む)：年3回実践する。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定、出退勤PC横に、平常日の退勤目標時刻を予告・表示する。 ・学校閉庁日の設定。 ・会議資料のデジタル化等、ICT活用による校務の精選・効率化を推進する。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
○地域・家庭と共に歩む学校づくり	○市民性を育む教育の推進 ○地域や保護者との連携	○「地域行事に積極的に参加できた」「自分は地域の一員である」と回答した児童85%以上	・学校行事、総合的な学習の時間や生活科等と関連させ、地域の「人・もの・こと」等の地域の教育力を生かした学習を仕組む。 ・体験活動を通して、地域の人と触れ合う機会を設定し、自己肯定感を高め、郷土を愛する心を育む。							
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施。 ・ケース会議を開催し、情報共有を重ねる。							

5 総合評価・次年度への展望	<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</p>
----------------	-------------------------------